

# Akatake Times

Vol. 42  
(通算 第195号)

コロナ禍で迎えた2回目のゴールデンウィークでしたが、不安ばかりの昨年とは異なり、対策を施したステイホーム、家族時間を楽しめた人も多かったのではないのでしょうか？国内でも徐々にワクチン接種が進んでいますので、いよいよ対策も本格化してきた感があります。

マスクをしないのが当たり前だった、あの頃に戻るのが待ち遠しいですね。



## 『密やかに 初夏を報せる 花化粧』

コロナ禍で不要不急の外出を自粛しなければならない今だからこそ、近くにあるものを愛でる良い機会と捉えてみましょう。

このツツジは、第2工場の北側で咲いていたものです。

皆さん、こんなにきれいに咲き誇るツツジが当社にあるなんて知っていましたか？

普段は近くにありすぎて気づかないものも、こういう時だから気づけたりします。

「禍を転じて福と為す」の格言のとおり、捉え方を変えれば、意外とマイナスをプラスに転じることができるものです。

コロナ禍の影響をポジティブに捉え、新たな気づきに繋げていきましょう。

撮影日：2021年 4月 30日



### ◆循環型社会の中で

今年も、会社の河津桜の開花が一足早い春の到来を告げてくれ、窓から降り注ぐ日差しも眩しい季節になってきました。

今回は、巣籠もり時間中、少し気になったこと「循環型社会」について、少し書かせていただこうと思います。

今の日本は、戦後の高度成長期以来、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムのもとで成り立ってきました。

私たちは、便利さを追求し、たくさんのモノに支えられ、当たり前のように豊かな生活を送る一方、限りある資源やエネルギーを大量消費することによって、結果、大量のゴミを生み出し、天然資源の枯渇、環境破壊、廃棄物処分場の不足など多くの問題に直面しています。

これらの問題を解決するために、企業はもちろん私たち個人も、これまでのライフスタイルや経済活動、社会活動自体を見直す必要があります。

我が社においても、既にISO14001で取り組んでいますので、業務として周知されているとは思いますが、「循環型社会」とは、地球規模で廃棄物等の発生を抑制し、廃棄物等のうちから有益なものは資源として活用し、適正な廃棄物の処理を行うことで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らす社会のことです。簡単に言えば、リサイクルできるモノは分別し、ゴミはなるべく出さず、使えないゴミはきちんと処分しよう、ということです。

一般社会においても、マイ水筒、エコバックの普及や脱ストローの取り組みなど、私生活でも随分身近になってきたのではないのでしょうか？

自分(自部署)には不要な物でも、誰か(他部署)にとっては必要な物かもしれません。

私も、断捨離の際には、溜まった本や不用品をリサイクルショップに持ち込んだり、モノを購入する時は長く使えるものか、廃棄しやすいかなど熟慮して購入するようになりました。

皆さんも実践されていることがありましたら、是非ご紹介していただきたいと思います。

社内間でもそれらの情報を共有、活用できる場があってもいいですね。

難しく考えないで、まずは身の回りでできることから始めてみませんか？

### ◆松の木を里子に出しました

今なお続くコロナ禍の出口の見えない日々の中で、四季は確実にめぐり2度目の春を迎えました。

プライベートで恐縮ですが、今年の春は、昨年とは違い少し楽しみにしていることがあります。

我が家には、小さいながらも門構えに松の木と槇の木、金木犀、紅葉、そして子供達の誕生祝記念樹であるサザン花・・・などの樹木があります。

毎年初夏と暮れには剪定作業をしていましたが、悲しいかな体力の衰えもあり、年々手入れが重荷になってきたこともあり、数年前から庭木の入替工事の検討をし始めました。

この門構えの松は亡き父の格別のお気に入り、以前住んでいた家から移植したもので、

今の家に転居後も25年間、家族を送り迎えし、

見守ってくれた木です。

その松の木を根こそぎ伐採というのは、いかにせよ偲びなく躊躇していたところ、焼津にある【庭木の里親活動】をしている造園会社を見つけました。

残念ながら、槇の木は病気枯れし始めていた為処分となりましたが、松はその造園会社が引き取ってくれ、今後は植木選定の技能講習で活用していただけることになりました。

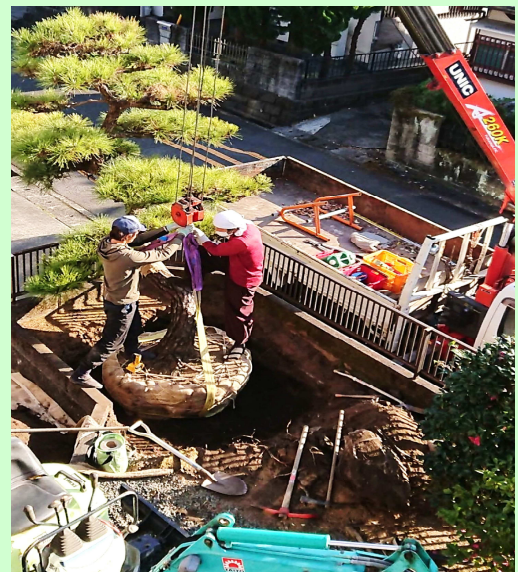
この里親制度のお蔭で、危うく奪ってしまうところだった松の木の命だけでなく、私の気持ちも救われ、安心して里子に出すことができたのです。

里親活動をされている造園会社さんと、そのご縁に感謝です。

春たけなわの今、庭には代わりに新しく植樹したハナミズキの花が、ひとつふたつと咲き始めました。

来月には、シンボルツリーのヤマボウシも開花予定ですので、コロナ禍の中でも穏やかに春を楽しめそうです。

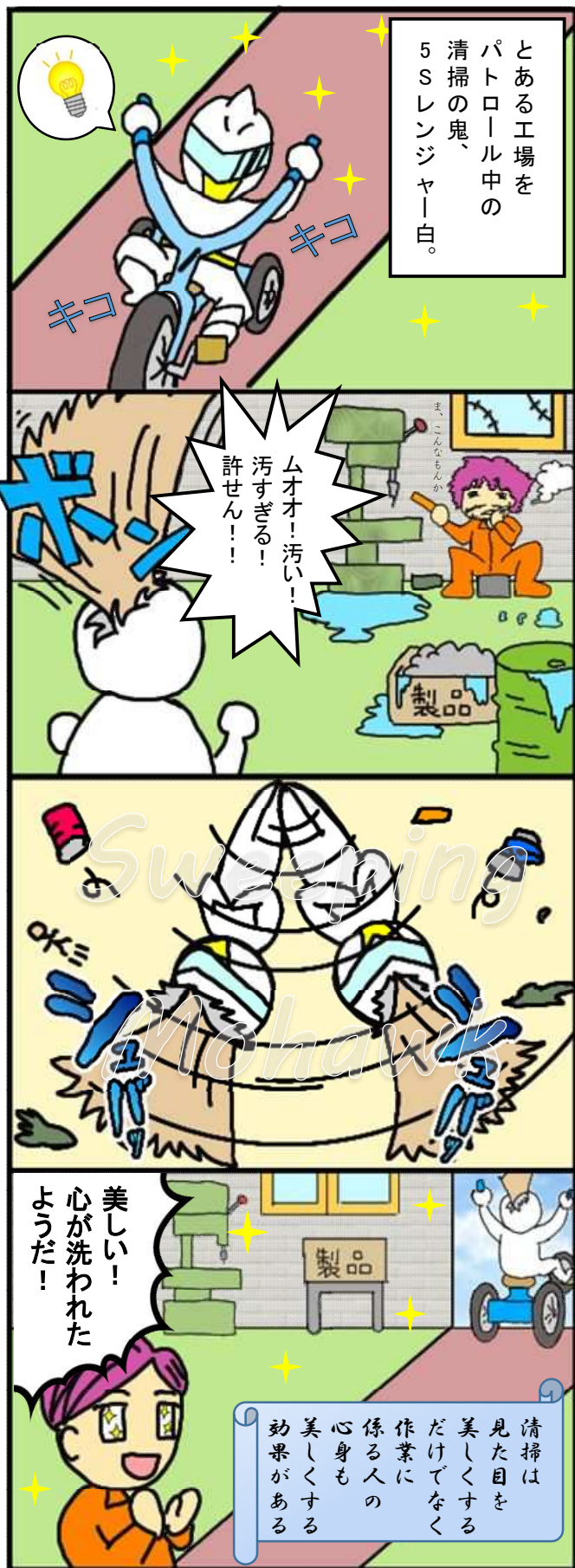
我が家の植木の里子、些細なことですが、これも地球に優しい循環型社会へ繋がったのでしょうか…？



取締役 山本 明生

# Enjoy 5S★レコシヤー

～Story4 病は気から 心身の乱れは汚い職場から～



## Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2021年2月～3月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ✿ カーネーション
- ✿ トルコキキョウ
- ✿ カスミノウ

## いままら 聞かない... ビジネス用語

# 『OJT』

オージェーティー

On-the-Job Training の略称で、現場での業務を通して指導を行う教育手法のことです。  
①手本を見せる、②説明する、③やらせてみる、④効果を確認する、の4段階のステップを繰り返すことが基本となります。

ただこのOJT、気を付けないと、放置状態にしまっていたり、仕事の成り行き任せで教育が偏ってしまったりします。  
意図的・計画的・継続的に指導することが重要となりますので、注意しましょう。

人に教えることで、自分の理解が深まり、あるいは知識不足に気付いたりするので、自分自身のレベルアップにも繋がります。  
これぞ正に「共育」と言えるでしょう。